

## 2015年3月の地震活動の評価

### 1. 主な地震活動

目立った活動はなかった。

### 2. 各地方別の地震活動

#### (1) 北海道地方

- 3月6日に日高地方中部の深さ約55kmでマグニチュード(M)4.9の地震が発生した。この地震の発震機構は北東一南西方向に圧力軸を持つ型で、陸のプレート内で発生した地震である。
- 3月25日に十勝地方南部の深さ約50kmでM5.0の地震が発生した。この地震の発震機構は北西一南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

#### (2) 東北地方

- 3月12日に福島県沖の深さ約45kmでM5.0の地震が発生した。この地震の発震機構は西北西一東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

#### (3) 関東・中部地方

- 3月4日に愛知県西部〔岐阜県美濃中西部〕の深さ約40kmでM4.6の地震が発生した。この地震の発震機構は北東一南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。
- 3月24日に長野県北部の深さ約5kmでM3.8の地震が発生した。この地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、地殻内で発生した地震である。
- 3月24日に茨城県南部の深さ約70kmでM4.6の地震が発生した。この地震の発震機構は西北西一東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した地震である。
- 東海地方のGNSS観測結果等には、東海地震に直ちに結びつくとみられる変化は観測されていない。

#### (4) 近畿・中国・四国地方

目立った活動はなかった。

#### (5) 九州・沖縄地方

目立った活動はなかった。

注： [ ] 内は気象庁が情報発表で用いた震央地域名である。

GNSSとは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般をしめす呼称である。

# 2015年3月の地震活動の評価についての補足説明

平成27年4月9日  
地震調査委員会

## 1. 主な地震活動について

2015年3月の日本およびその周辺域におけるマグニチュード(M)別の地震の発生状況は以下のとおり。

M4.0以上およびM5.0以上の地震の発生は、それぞれ79回(2015年2月は108回)および6回(2015年2月は15回)であった。また、M6.0以上の地震の発生は0回(2015年2月は5回)であった。

(参考) M4.0以上の月回数73回(1998-2007年の10年間の中央値)、  
M5.0以上の月回数9回(1973-2007年の35年間の中央値)、  
M6.0以上の月回数1.4回、年回数約17回(1924-2007年の84年間の平均値)

2014年3月以降2015年2月末までの間、主な地震活動として評価文に取り上げたものは次のものがあった。

— 伊予灘	2014年3月14日	M6.2(深さ約80km)
— チリ北部沿岸	2014年4月2日	Mw8.1
— 伊豆大島近海	2014年5月5日	M6.0(深さ約160km)
— アリューシャン列島ラット諸島	2014年6月24日	Mw7.9
— 岩手県沖	2014年7月5日	M5.9(深さ約50km)
— 胆振地方中東部	2014年7月8日	M5.6(深さ約5km)
— 福島県沖	2014年7月12日	M7.0
— 青森県東方沖	2014年8月10日	M6.1(深さ約50km)
— 栃木県北部	2014年9月3日	M5.1(深さ約5km)
— 茨城県南部	2014年9月16日	M5.6(深さ約45km)
— 長野県北部	2014年11月22日	M6.7(深さ約5km)
— 徳島県南部	2015年2月6日	M5.1(深さ約10km)
— 三陸沖	2015年2月17日	M6.9
— 岩手県沖	2015年2月17日	M5.7(深さ約50km)

## 2. 各地方別の地震活動

### (1) 北海道地方

北海道地方では特に補足する事項はない。

### (2) 東北地方

東北地方では特に補足する事項はない。

### (3) 東北地方太平洋沖地震に伴う地震活動及び地殻変動について

— 東北地方太平洋沖地震の余震域で発生したM4.0以上の地震の発生数は、東北地方太平洋沖地震後の約1年間と比べて、その後の1年間(2012年3月～2013年2月)では5分の1以下、2年後からの1年間(2013年3月～2014年2月)では10分の1以下、3年後からの1年間(2014年3月～2015年2月)では15分の1以下にまで減

少してきている。

G N S S 連続観測によると、東北地方から関東・中部地方の広い範囲で余効変動と考えられる地殻変動が引き続き観測されている。地殻変動量は、東北地方太平洋沖地震直後からの約 1 ヶ月間で、最大で水平方向に 30cm、上下方向に 6cm の沈降と 5cm の隆起であったものから、最近 1 ヶ月あたりでは水平方向、上下方向ともにほぼ 1cm 未満と小さくなっているが、地震前の動きには戻っていない。

2004 年に発生したスマトラ北部西方沖の地震 (Mw9.1) では、4 カ月後に Mw8.6、約 2 年半後に Mw8.5、約 5 年半後に Mw7.5、約 7 年半後に海溝軸の外側の領域で Mw8.6 の地震が発生するなど、震源域およびその周辺で長期にわたり大きな地震が発生している。

余震活動は全体として徐々に低下している傾向にあると見てとれるものの、依然として東北地方太平洋沖地震前の地震活動より活発な状況にあることや、他の巨大地震における事例から総合的に判断すると、今後も長期間にわたって余震域やその周辺で規模の大きな地震が発生し、強い揺れや高い津波に見舞われる可能性があるので、引き続き注意が必要である。

#### (4) 関東・中部地方

— 「3 月 24 日に長野県北部の深さ約 5 km で M3.8 の地震が発生した。(以下、略)」：

この地震は、2014 年 11 月 22 日に発生した長野県北部の地震 (M6.7、最大震度 6 弱) の余震域内で発生した。2014 年 11 月 22 日の長野県北部の地震の余震活動は徐々に低下している。

— 「東海地方の G N S S 観測結果等には、東海地震に直ちに結びつくとみられる変化は観測されていない。」：

(なお、これは、3 月 23 日に開催された定例の地震防災対策強化地域判定会における見解 (参考参照) と同様である。)

(参考) 最近の東海地域とその周辺の地殻活動(平成 27 年 3 月 23 日気象庁地震火山部)

「現在のところ、東海地震に直ちに結びつくとみられる変化は観測していません。

##### 1. 地震の観測状況

浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、引き続き地震の発生頻度の低い状態が続いています。

##### 2. 地殻変動の観測状況

G N S S 観測及び水準測量の結果では、御前崎の長期的な沈降傾向は継続しています。

平成 25 年はじめ頃から静岡県西部から愛知県東部にかけての G N S S 観測及びひずみ観測にみられている通常とは異なる変化は、現在も継続しています。

##### 3. 地殻活動の評価

平成 25 年はじめ頃から観測されている通常とは異なる地殻変動は、浜名湖付近のプレート境界で「長期的ゆっくりすべり」が発生している可能性を示しており、現在も継続しています。

そのほかに東海地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは今のところ得られていません。

以上のように、現在のところ、東海地震に直ちに結びつくとみられる変化は観測していません。

なお、G N S S 観測の結果によると「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」による余効変動が、小さくなりつつありますが東海地方においてもみられています。」

## (5) 近畿・中国・四国地方

- 豊後水道周辺で 2014 年夏頃から見られている非定常的な地殻変動は、現在は停滞している。この変化は、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界におけるゆっくりとした滑り（スロースリップ）に起因するものと考えられる。

## (6) 九州・沖縄地方

九州・沖縄地方では特に補足する事項はない。

### 参考 1 「地震活動の評価」において掲載する地震活動の目安

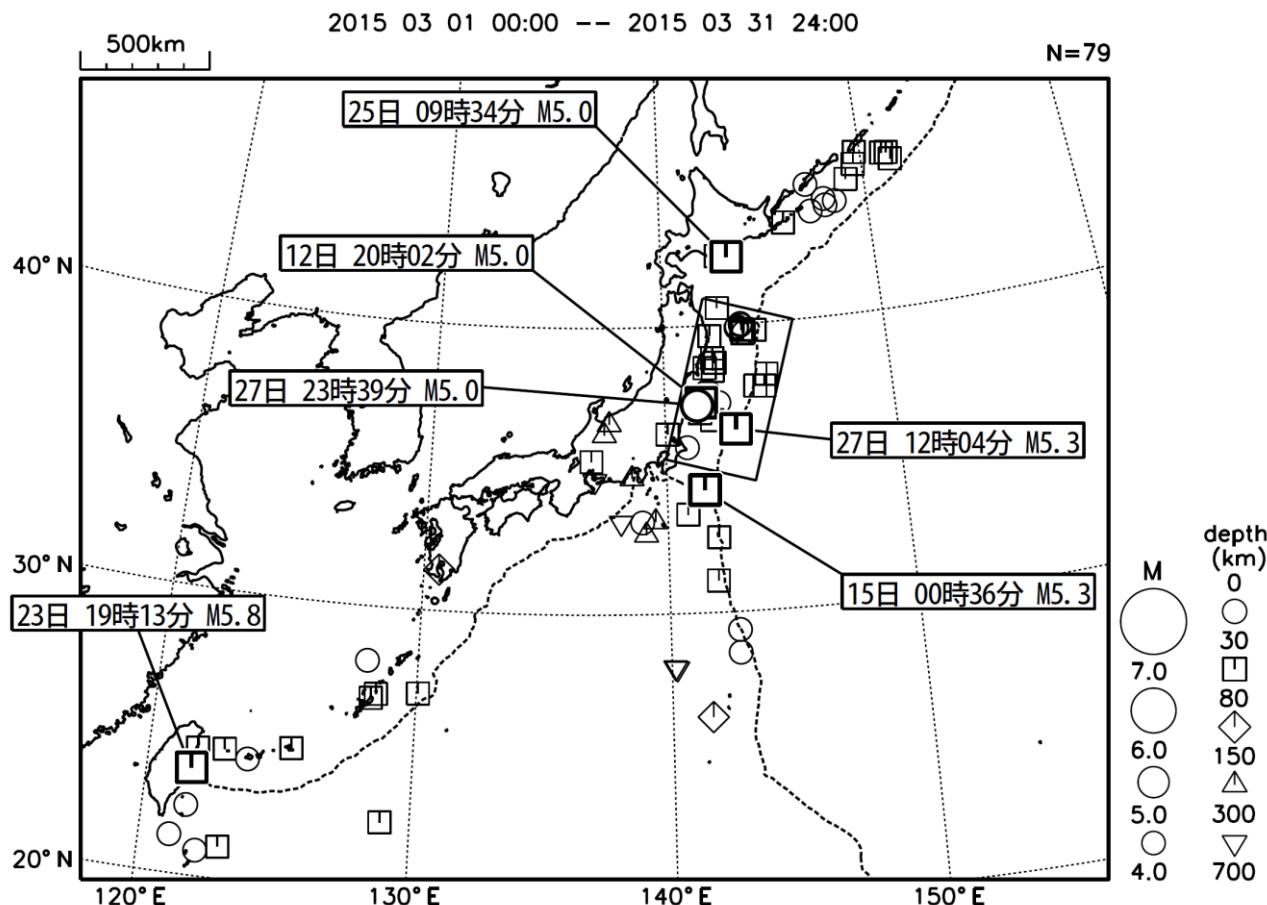
- ① M6.0 以上または最大震度が 4 以上のもの。
- ② 内陸 M4.5 以上かつ最大震度が 3 以上のもの。
- ③ 海域 M5.0 以上かつ最大震度が 3 以上のもの。

### 参考 2 「地震活動の評価についての補足説明」の記述の目安

- 1 「地震活動の評価」に記述された地震活動に係わる参考事項。
- 2 「主な地震活動」として記述された地震活動（一年程度以内）に関連する活動。
- 3 評価作業をしたもの、活動が顕著でなく、かつ、通常の活動の範囲内であることから、「地震活動の評価」に記述しなかった活動の状況。

## 2015年3月の地震活動の評価に関する資料

### 2015年3月の全国の地震活動 (マグニチュード4.0以上)



※ 矩形は「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震域

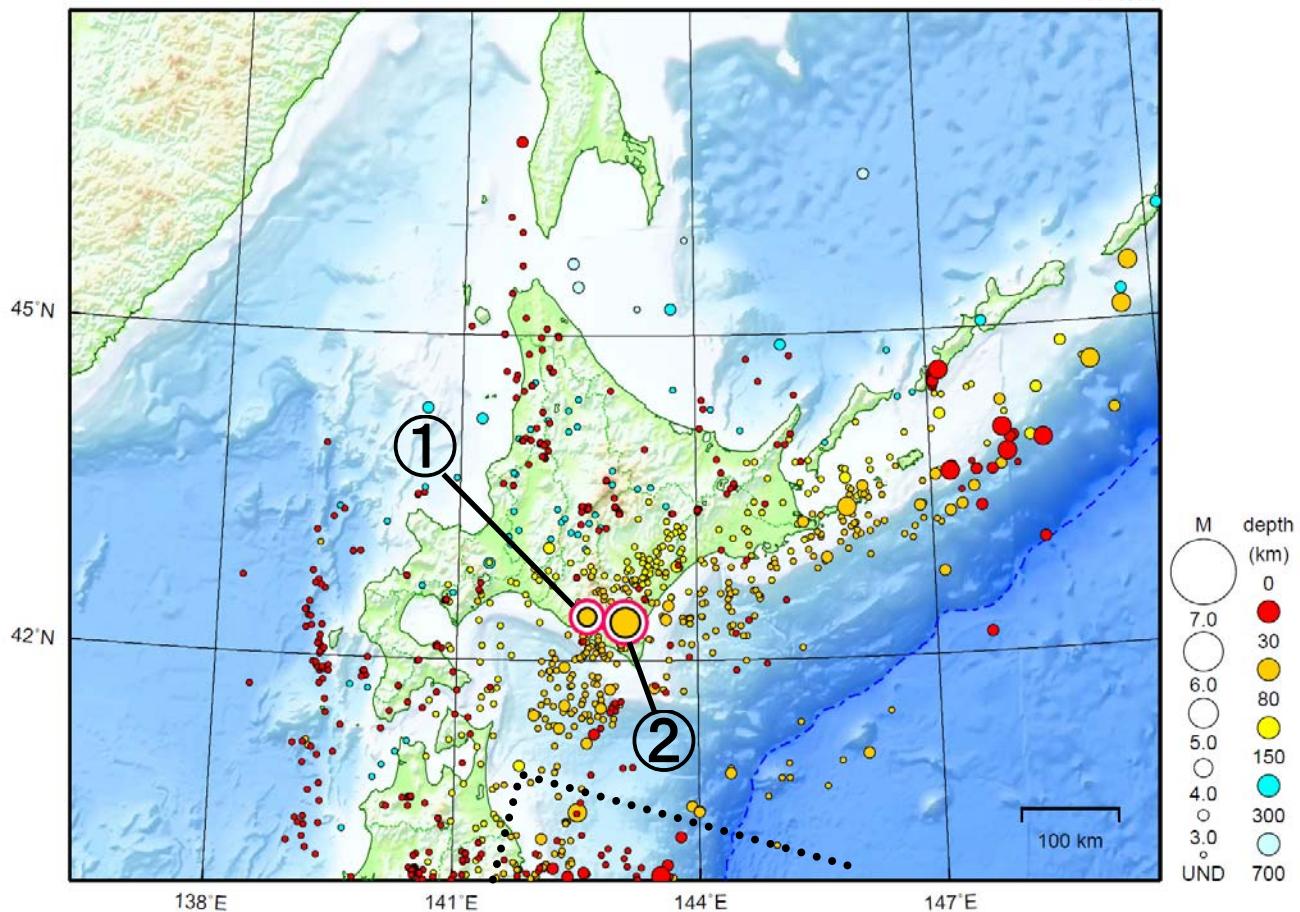
- 特に目立った活動はなかった。

[図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。また、上に表記した地震はM6.0以上、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。]

# 北海道地方

2015/03/01 00:00 ~ 2015/03/31 24:00

N=1073



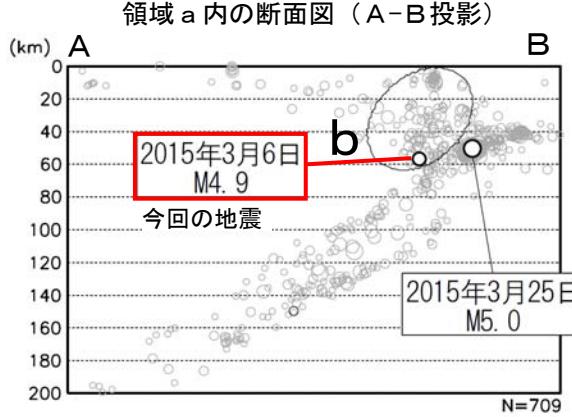
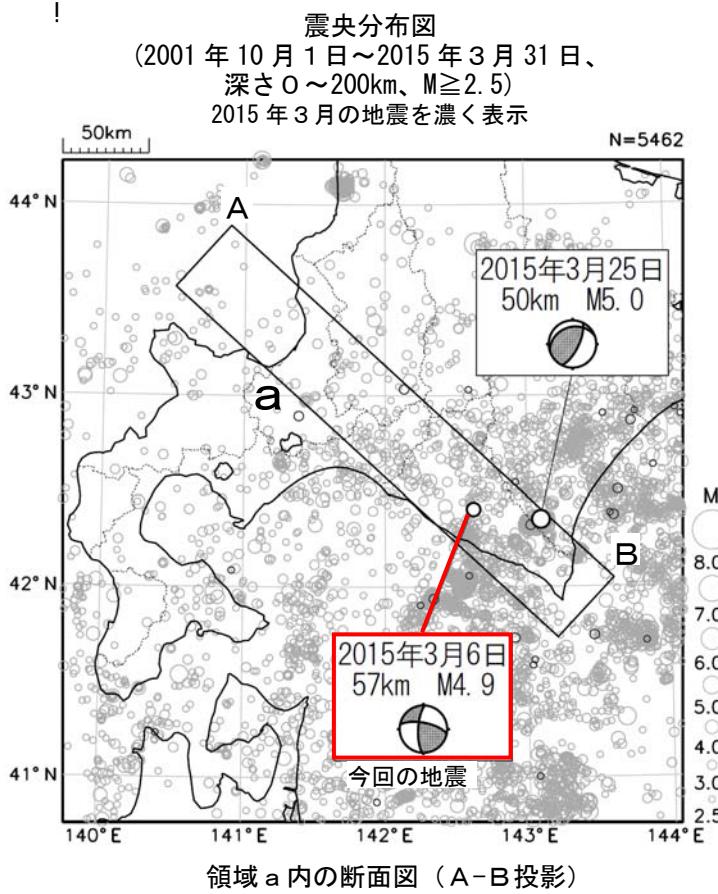
※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 3月 6 日に日高地方中部で M4.9 の地震（最大震度 3）が発生した。
- ② 3月 25 日に十勝地方南部で M5.0 の地震（最大震度 3）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

# 3月6日 日高地方中部の地震

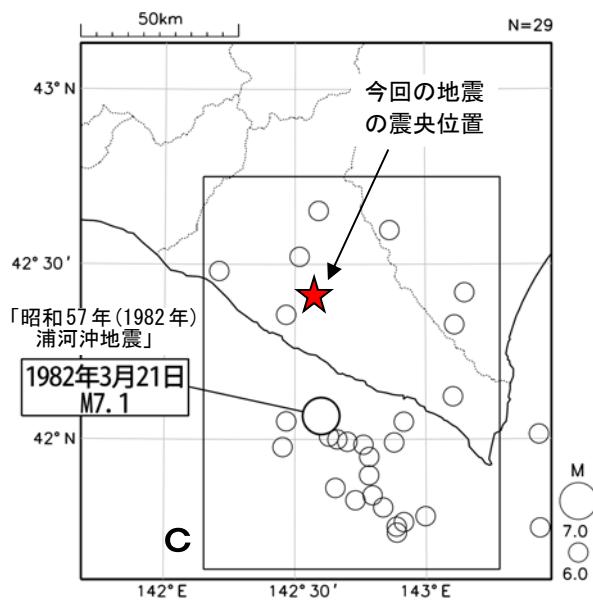


2015年3月6日08時06分に日高地方中部の深さ57kmでM4.9の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構が北東一南西方向に圧力軸を持つ型で、陸のプレート内で発生した地震である。

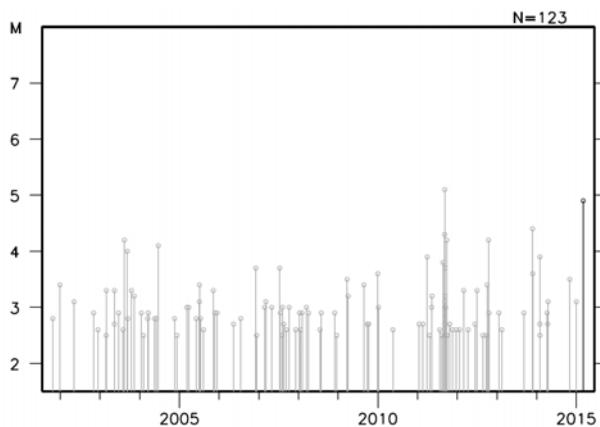
2001年10月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震源周辺（領域b）では、M4.0以上の地震がしばしば発生している。

1923年1月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震がしばしば発生しており、最大は「昭和57年（1982年）浦河沖地震」（M7.1、最大震度6）が発生し、重軽傷者167名、住家全半壊41棟などの被害を生じた（「昭和57・58年災害記録（北海道、1984）」による）。この地震により、浦河で78cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した。

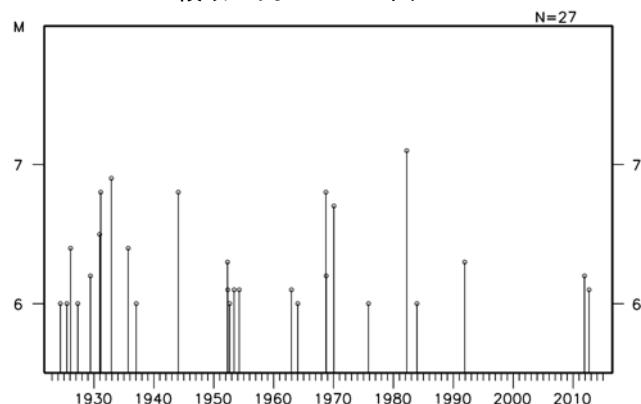
**震央分布図**  
(1923年1月1日～2015年3月31日、  
深さ0～100km、M≥6.0)



**領域b内のM-T図**

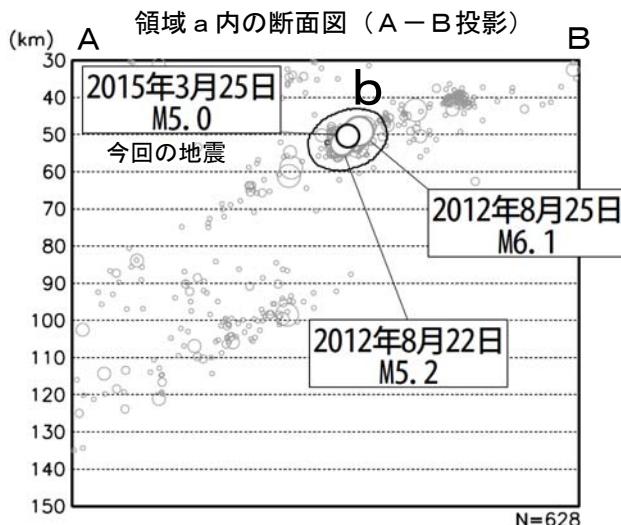
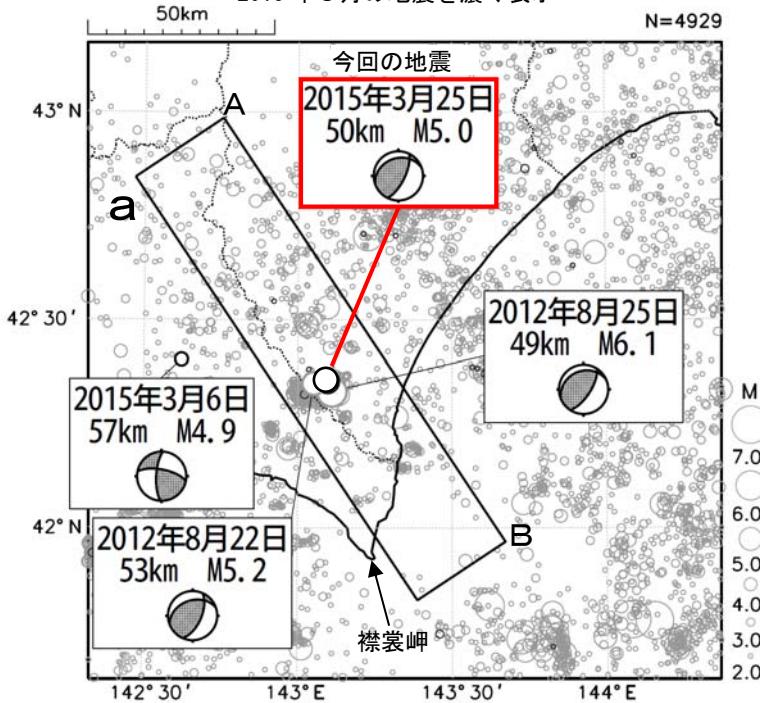


**領域c内のM-T図**



# 3月25日 十勝地方南部の地震

震央分布図 (2001年10月1日～2015年3月31日、  
深さ30～150km、M≥2.0)  
2015年3月の地震を濃く表示  
50km  
N=4929

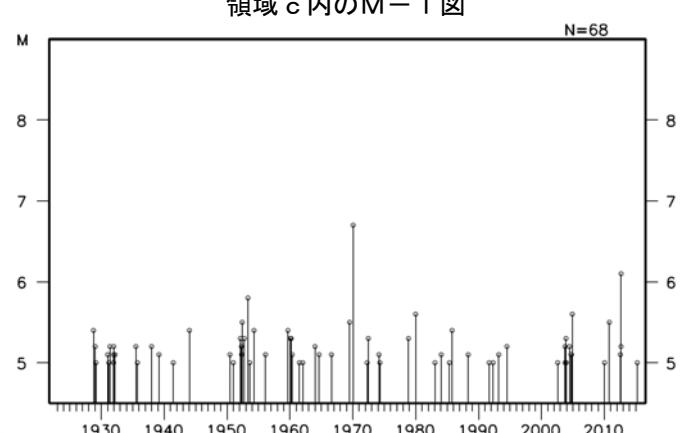
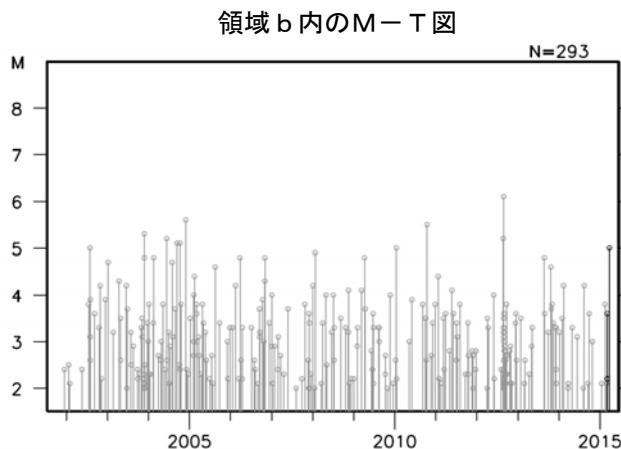
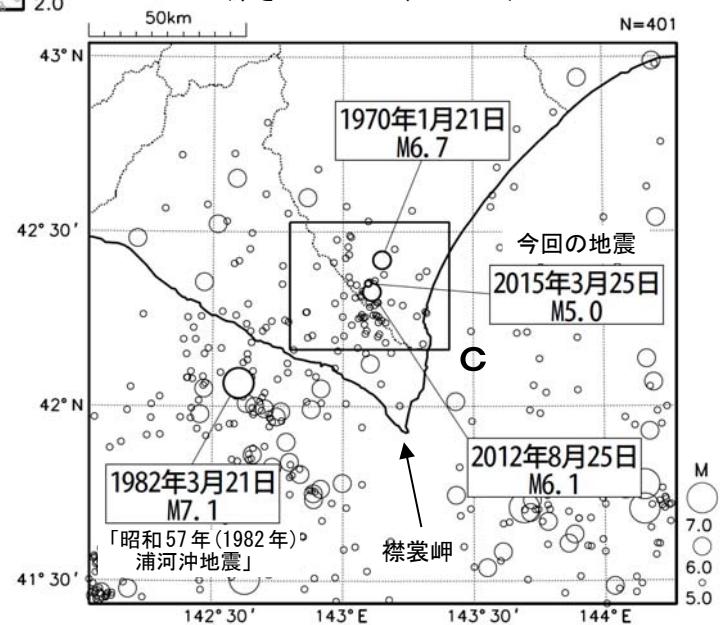


2015年3月25日09時34分に十勝地方南部の深さ50kmでM5.0の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4.5以上の地震がしばしば発生している。2012年には8月22日にM5.2の地震(最大震度4)が発生し、その3日後の8月25日にM6.1の地震(最大震度5弱)が発生した。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1970年1月21日に発生したM6.7の地震(最大震度5)により、負傷者32人、住家全壊2棟などの被害が生じている(「日本被害地震総覧」による)。

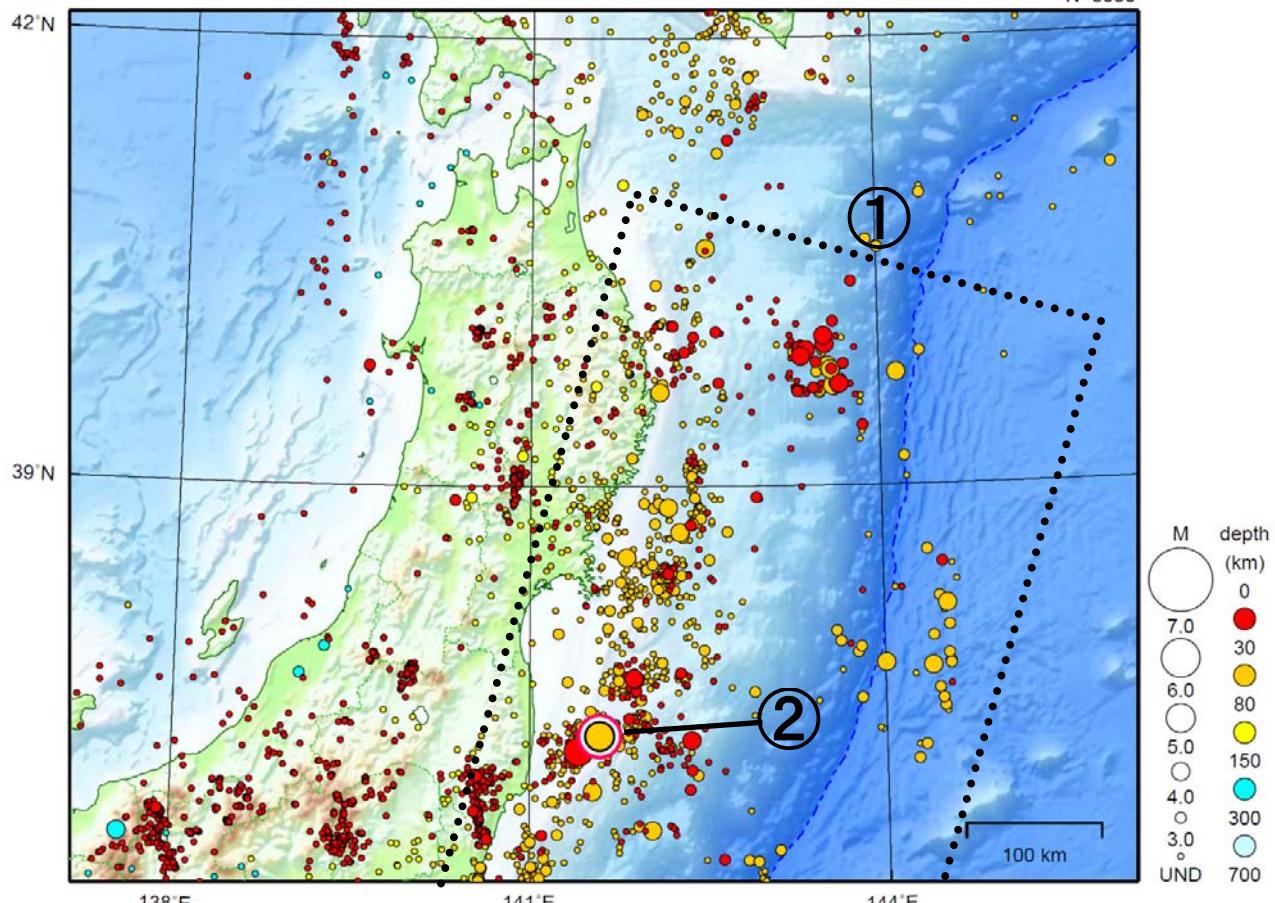
震央分布図  
(1923年1月1日～2015年3月31日、  
深さ0～100km、M≥5.0)



# 東北地方

2015/03/01 00:00 ~ 2015/03/31 24:00

N=3030



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

- ① 3月中に、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域内では M5.0 以上の地震が 3 回発生した（関東・中部地方も参照）。また、最大震度 4 以上を観測する地震はなかった。以下の②の地震活動は、東北地方太平洋沖地震の余震域内で発生した。
- ② 3月 12 日に福島県沖で M5.0 の地震（最大震度 3）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

# 平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震の余震活動

2011 年 3 月 11 日に発生した「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震活動は全体的には次第に低下してきているものの、最近の変化は以前に比べゆるやかになってきており、沿岸に近い領域を中心に、本震発生以前に比べて活発な状態が継続している。

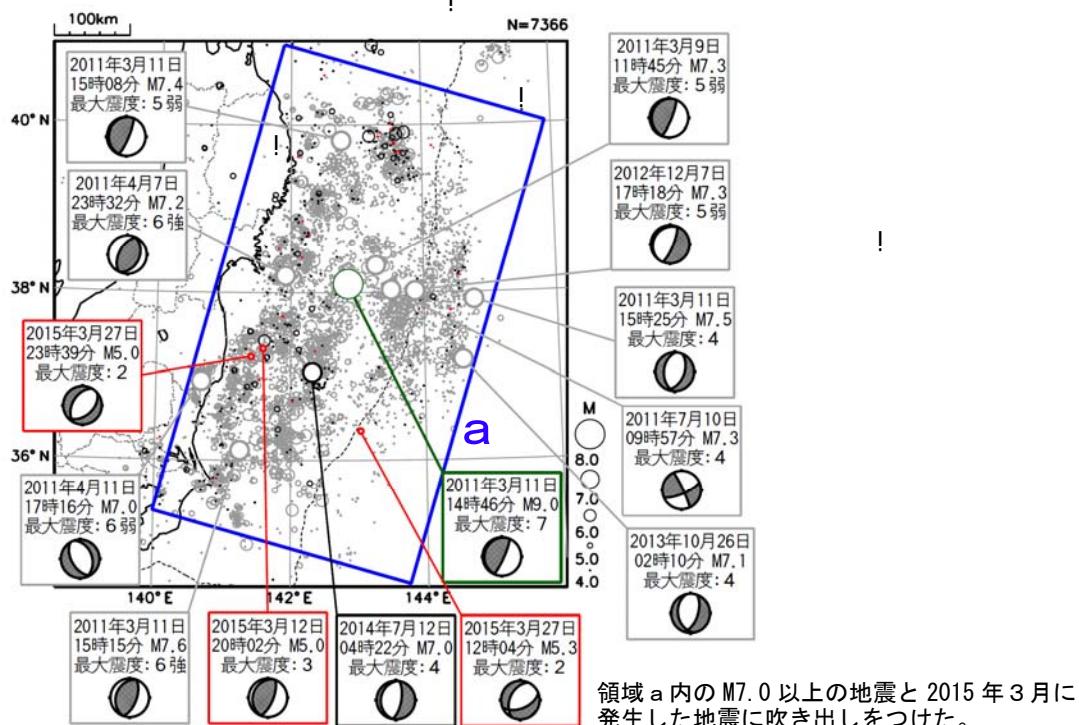
2015 年 3 月は、領域 a（「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の震源域及び海溝軸の東側を含む震源域の外側）で M5.0 以上の地震は 3 回発生した。また、最大震度 4 以上を観測する地震はなかった。なお、領域 a では 2001 年から 2010 年の 10 年間に M5.0 以上の地震が 190 回、震度 4 以上を観測する地震が 98 回発生している。

領域 a で 2015 年 3 月に発生した M5.0 以上の地震はそれぞれ以下のとおり。

発生日時	震央地名	M	Mw	最大震度	発震機構（CMT解）
03月12日 20時02分	福島県沖	5.0	5.0	3	西北西—東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型
03月27日 12時04分	関東東方沖	5.3	5.4	2	北西—南東方向に張力軸を持つ正断層型
03月27日 23時39分	福島県沖	5.0	4.6	2	北西—南東方向に張力軸を持つ正断層型

震央分布図

（2011 年 3 月 1 日～2015 年 3 月 31 日、深さすべて、M ≥ 4.0）  
2011 年 3 月からの地震を薄く、2014 年 3 月から 2015 年 2 月の地震を濃く、  
2015 年 3 月の地震を赤く表示 発震機構は CMT 解

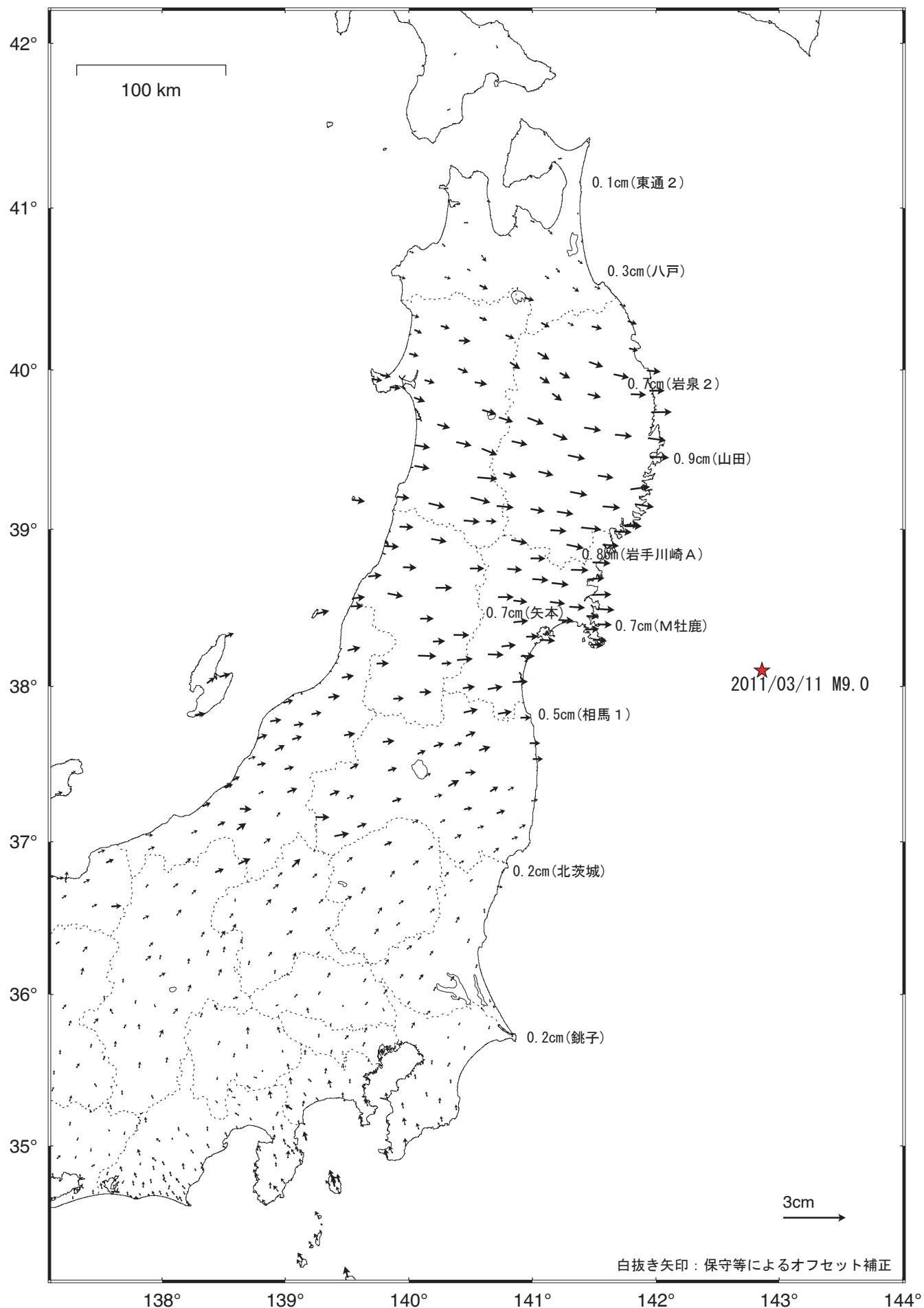


気象庁作成

# 東北地方太平洋沖地震（M9.0）後の地殻変動（水平）－1ヶ月－

基準期間：2015/02/18 -- 2015/02/24 [F3：最終解]

比較期間：2015/03/18 -- 2015/03/24 [R3：速報解]



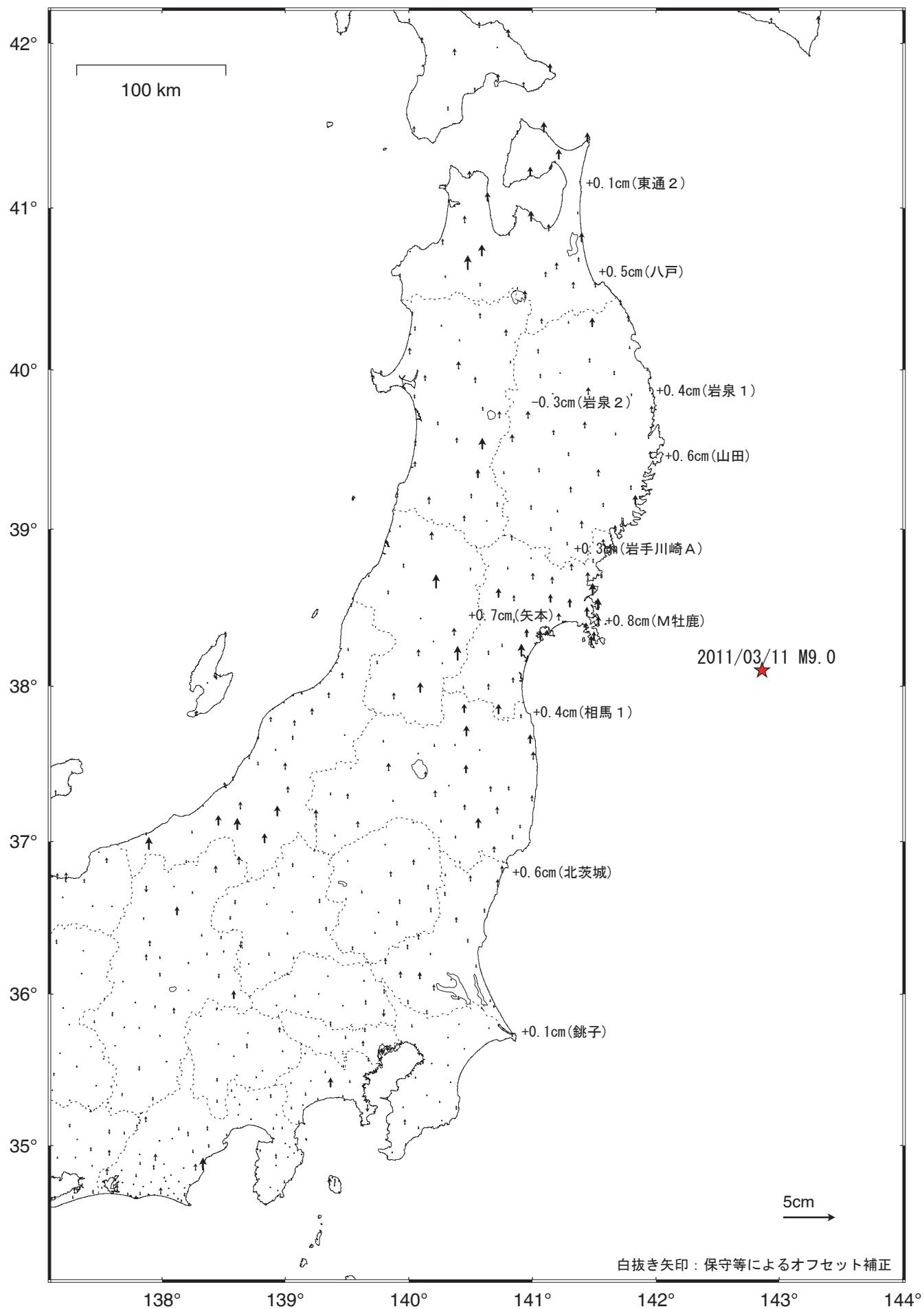
★ 固定局：福江（長崎県）

国土地理院

# 東北地方太平洋沖地震（M9.0）後の地殻変動（上下）—1ヶ月—

基準期間：2015/02/18 — 2015/02/24 [F3：最終解]

比較期間：2015/03/18 — 2015/03/24 [R3：速報解]



★ 固定局：福江（長崎県）

国土地理院

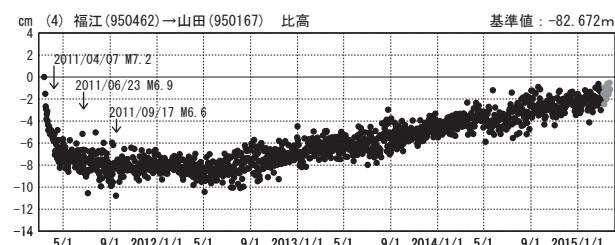
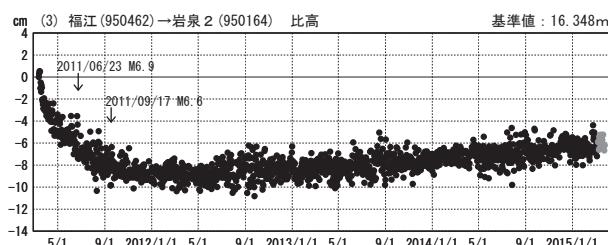
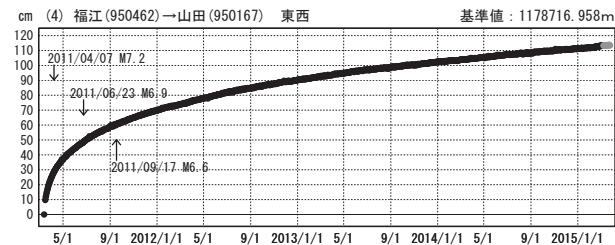
## 東北地方太平洋沖地震(M9.0)後の地殻変動（時系列）（2）

### 成分変化グラフ

期間：2011/03/12～2015/03/25 JST



期間：2011/03/12～2015/03/25 JST

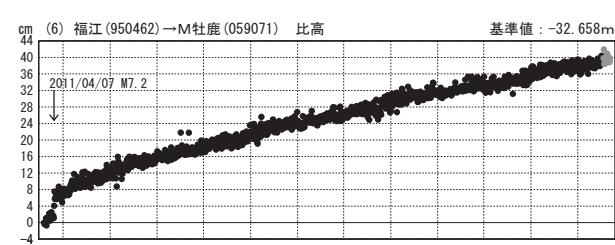
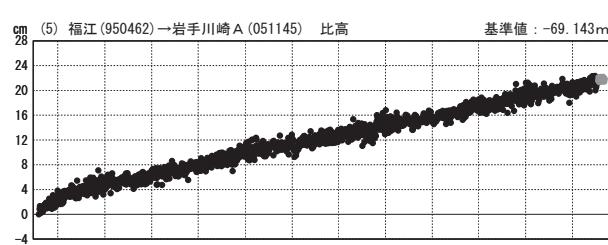
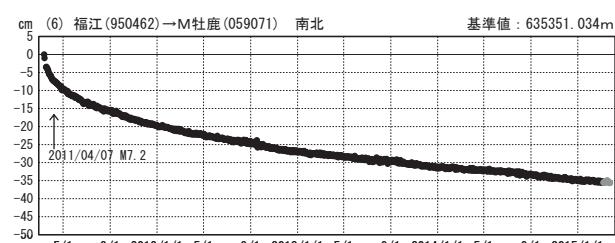
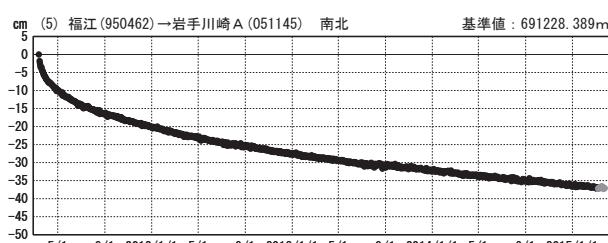


●---[F3:最終解] ●---[R3:速報解]

期間：2011/03/12～2015/03/25 JST



期間：2011/03/12～2015/03/25 JST



●---[F3:最終解] ●---[R3:速報解]

## 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震前後の地殻変動

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震前後の地殻変動

三隅 (950388) — 山田 (950167) 間の成分変位と速度グラフ

三隅 (950388) — 矢本 (960549) 間の成分変位と速度グラフ

東西成分変位量 (プロット最終日 : 2015/03/14)



東西成分速度 (プロット最終日 : 2015/02/11)



南北成分変位量 (プロット最終日 : 2015/03/14)



南北成分速度 (プロット最終日 : 2015/02/11)



比高成分変位量 (プロット最終日 : 2015/03/14)

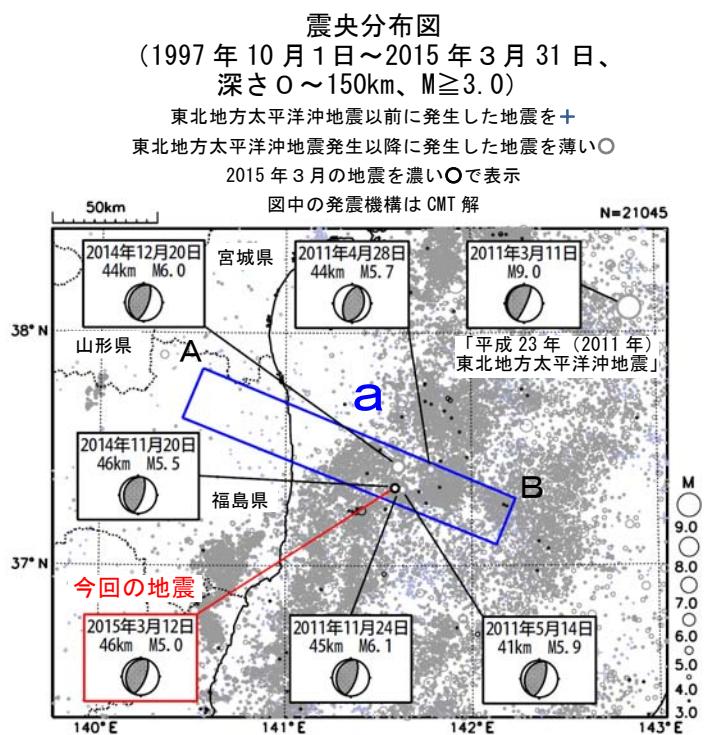


比高成分速度 (プロット最終日 : 2015/02/11)

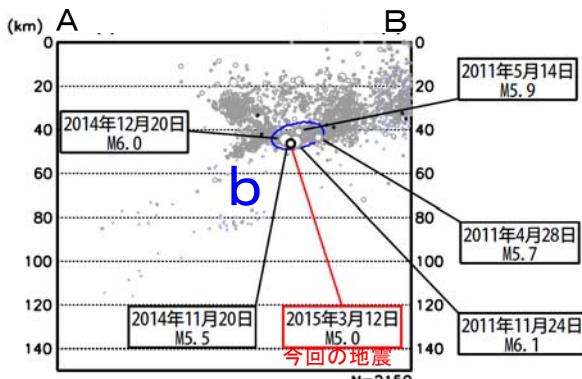


※成分変化率は60日間のデータを1日ずつずらして計算 (プロットの位置は計算に用いた期間の中間)

# 3月12日 福島県沖の地震

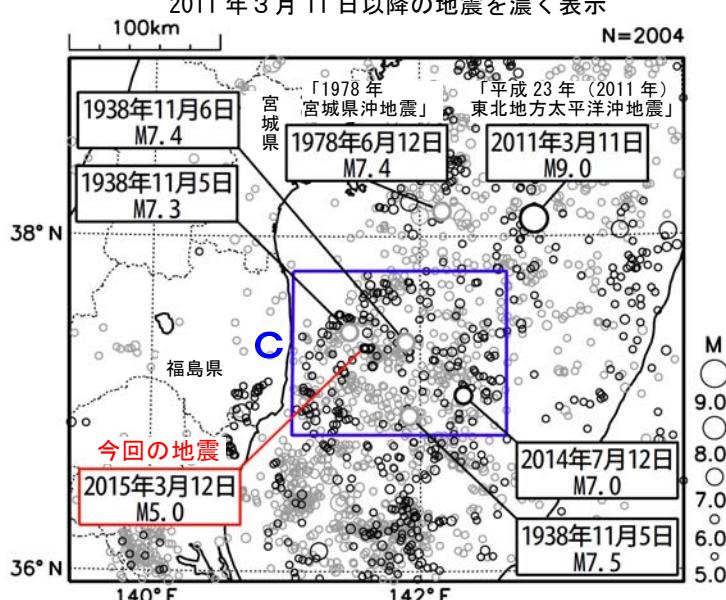


領域a内の断面図(A-B投影)



震央分布図  
(1923年1月1日～2015年3月31日、  
深さ0～150km、M≥5.0)

2011年3月11日以降の地震を濃く表示

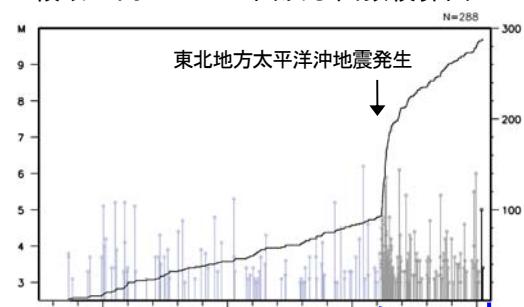


2015年3月12日20時02分に福島県沖の深さ46kmでM5.0の地震(最大震度3)が発生した。この地震は発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

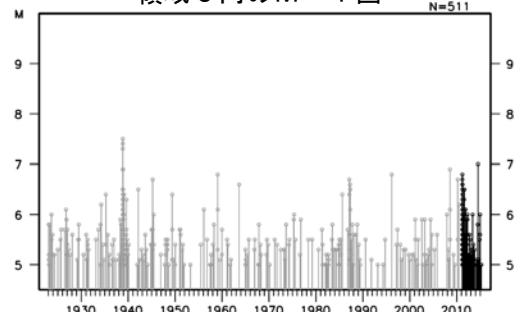
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5程度の地震が時々発生しており、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」発生以前に比べて地震活動が活発な状態が継続している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1938年11月5日にM7.5の地震が発生し、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた。また、この地震により、宮城県花淵で113cm(全振幅)の津波が観測された(「日本被害地震総覧」による)。この地震の発生以降、広い範囲でM7程度の地震が数回発生するなど、地震活動が活発になった。

領域b内のM-T図及び回数積算図



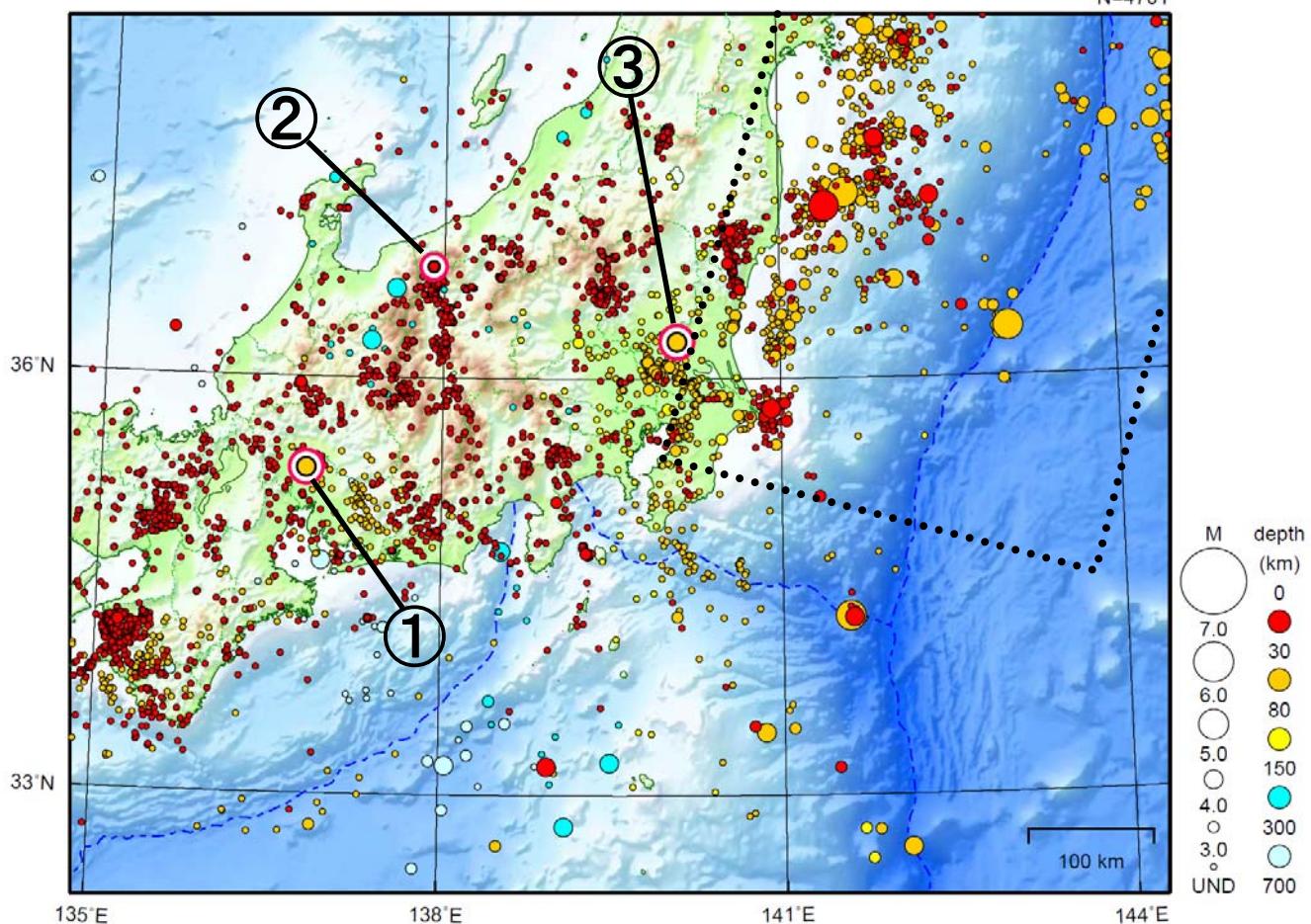
領域c内のM-T図



# 関東・中部地方

2015/03/01 00:00 ~ 2015/03/31 24:00

N=4701



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 3月4日に愛知県西部※でM4.6の地震（最大震度4）が発生した。

※情報発表に用いた震央地名は[岐阜県美濃中西部]である

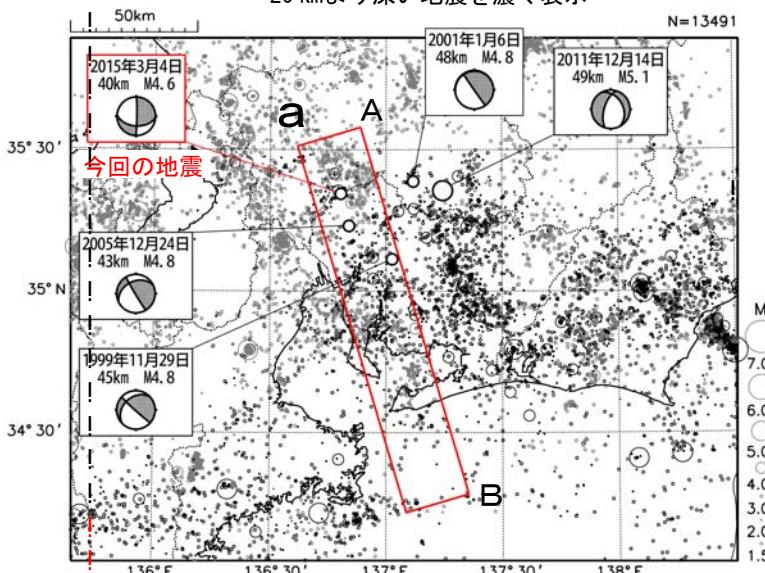
- ② 3月24日に長野県北部でM3.8の地震（最大震度4）が発生した。  
③ 3月24日に茨城県南部でM4.6の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

# 3月4日 愛知県西部の地震

情報発表に用いた震央地名は【岐阜県美濃中西部】である。

震央分布図  
(1997年10月1日～2015年3月31日、  
深さ0～60km、M≥1.5)  
20kmより深い地震を濃く表示

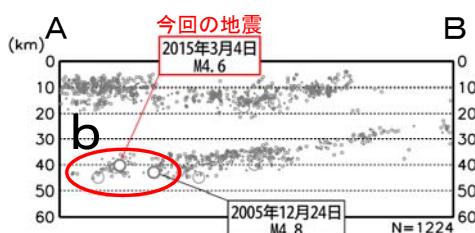


2015年3月4日00時04分に愛知県西部の深さ40kmでM4.6の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。発震機構は、北東-南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

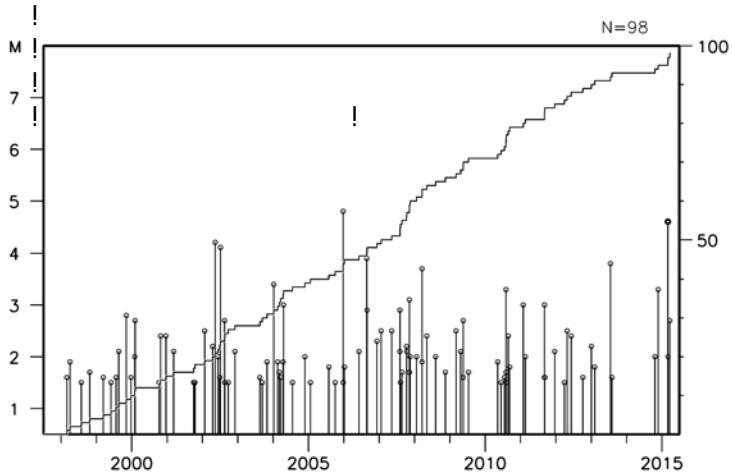
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4.0以上の地震が時々発生している。2005年12月24日にはM4.8の地震(最大震度4)が発生した。この地震により、負傷者1人の被害が生じた(総務省消防庁による)。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M5.0以上の地震が時々発生している。1925年7月7日にM5.6の地震が発生し、煙突や塀が倒壊する被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

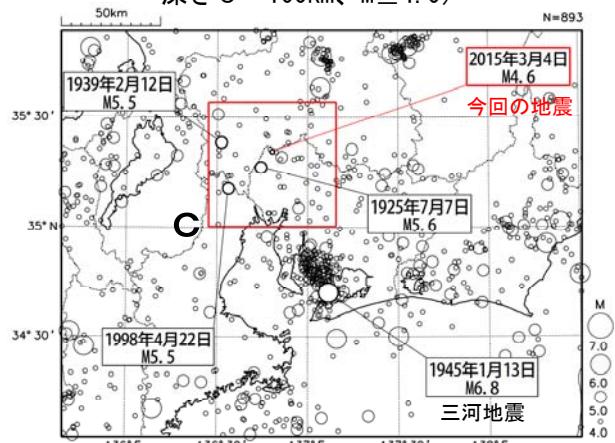
領域a内の断面図(A-B投影)



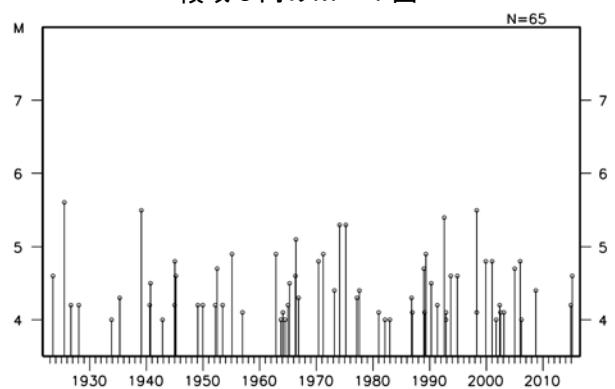
領域b内のM-T図及び回数積算図



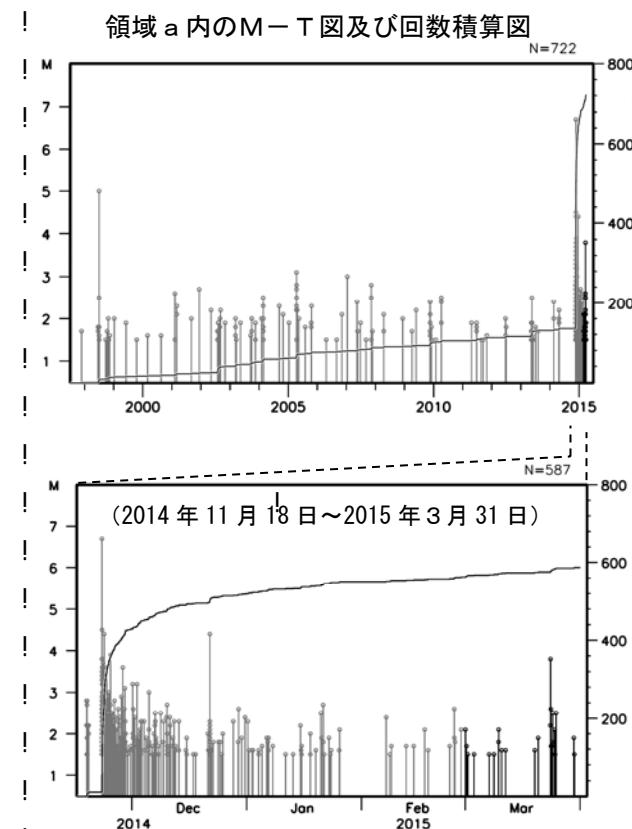
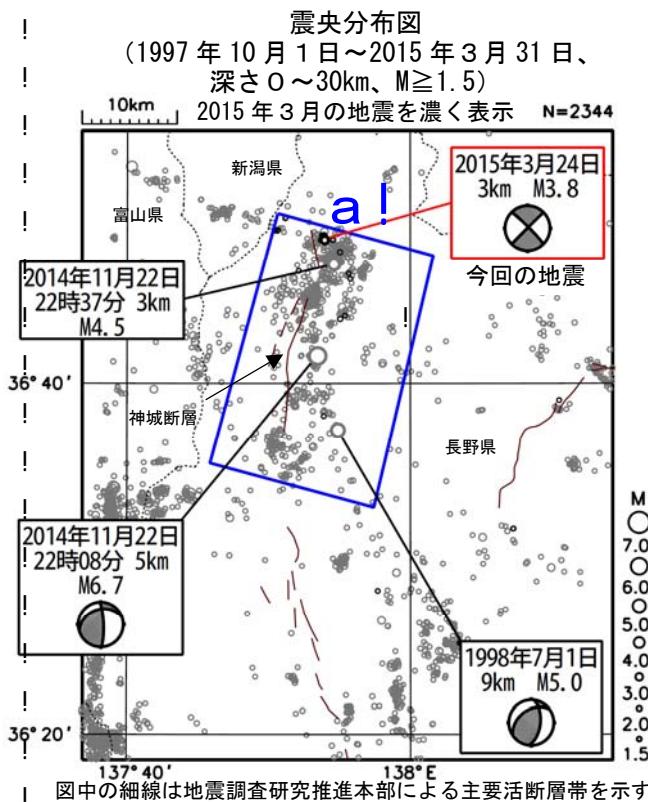
震央分布図  
(1923年1月1日～2015年3月31日、  
深さ0～100km、M≥4.0)



領域c内のM-T図



# 3月24日 長野県北部の地震

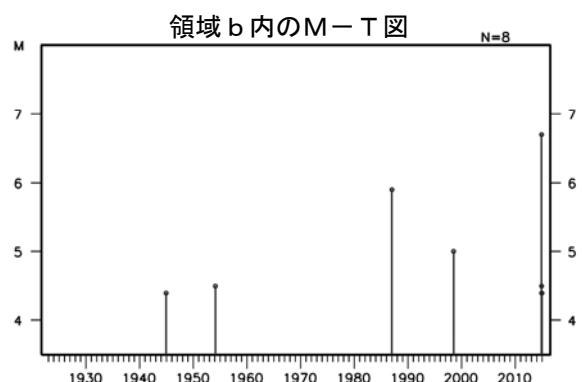
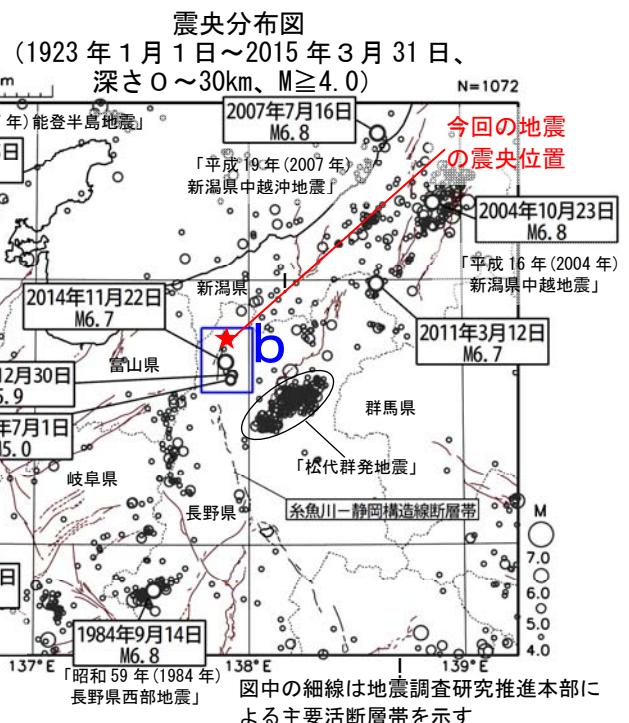


2015年3月24日01時06分に長野県北部の深さ3kmでM3.8の地震(最大震度4)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震は、2014年11月22日に発生した長野県北部の地震(M6.7、最大震度6弱)の余震域内(領域a)で発生した。

2014年11月22日の長野県北部の地震の余震活動は徐々に低下している。

1997年以降の活動を見ると、領域a内では、1998年7月1日にM5.0の地震(最大震度4)が発生している。また、2014年11月22日のM6.7の地震により、負傷者46人、住家全壊77棟などの被害が生じた(平成27年1月5日現在、総務省消防庁による)。

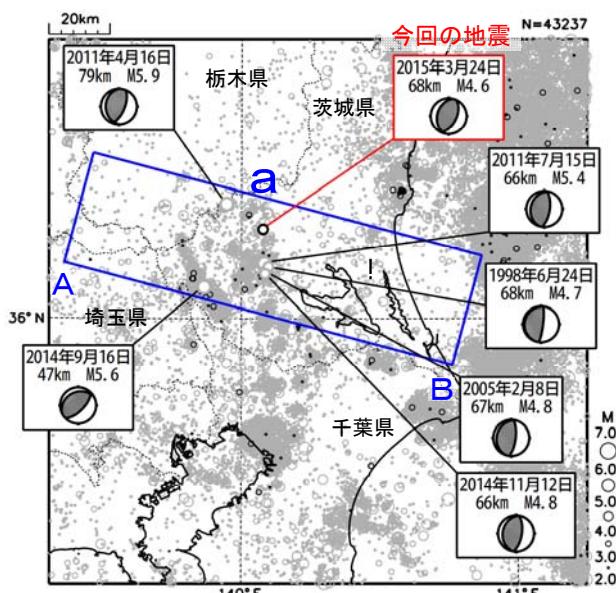
1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域b)では、1986年12月30日にM5.9の地震(最大震度4)が発生し、道路被害や石垣崩落などの被害を生じた(「日本被害地震総覧」による)。



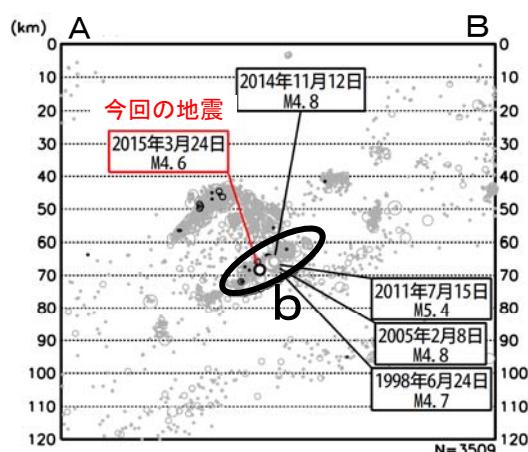
# 3月24日 茨城県南部の地震

## 震央分布図

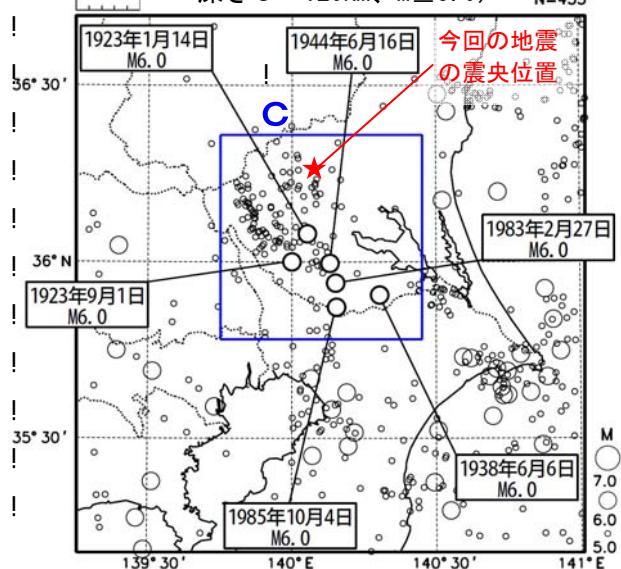
(1997年10月1日～2015年3月31日、  
深さ0～120km、M≥2.0)  
2015年3月の地震を濃く表示



領域a内の断面図（A-B投影）



震央分布図  
(1923年1月1日～2015年3月31日、  
深さ0～120km、M≥5.0) N=455



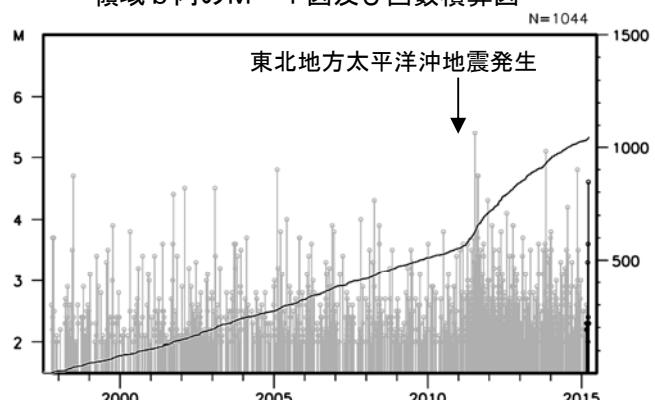
2015年3月24日13時53分に茨城県南部の深さ68kmでM4.6の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)ではM4.0を超える地震が時々発生している。

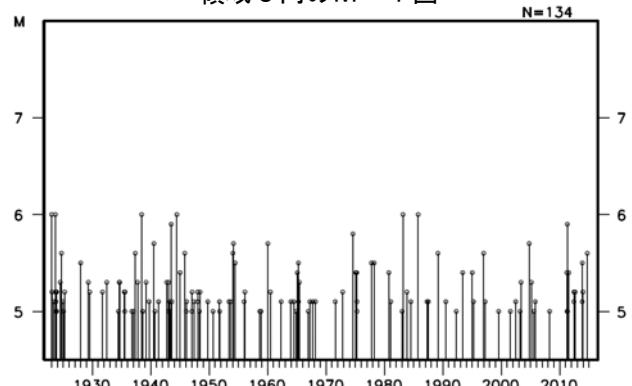
なお、この領域では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」発生以降、2012年にかけて、以前より地震活動が活発となっており、2011年7月15日にはM5.4の地震(最大震度5弱)、2014年11月12日にはM4.8の地震(最大震度4)などが発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0程度の地震が時々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



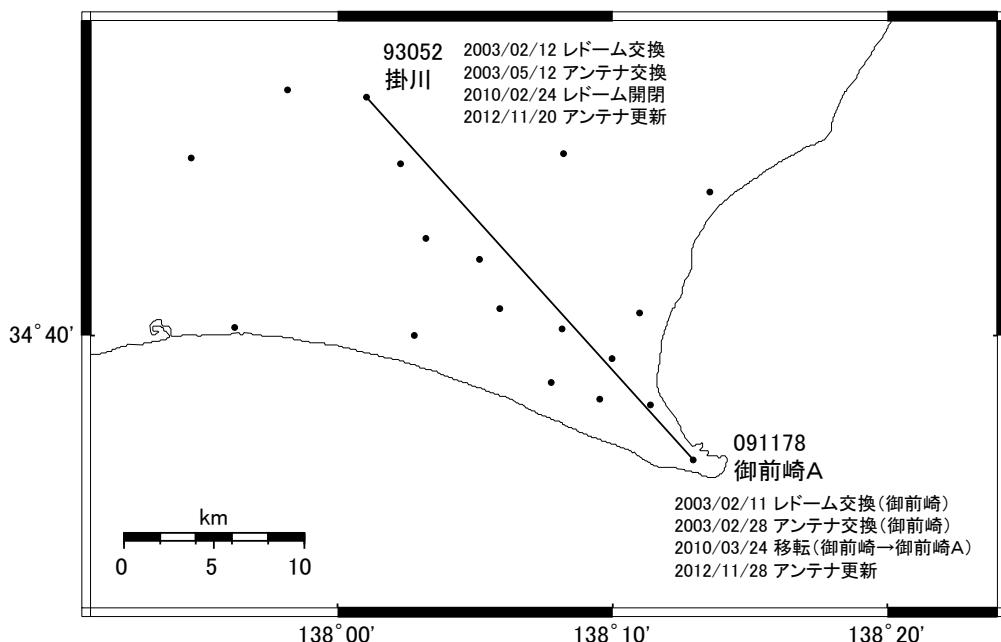
領域c内のM-T図



# 掛川市－御前崎市間のG N S S 連続観測結果(斜距離・比高)

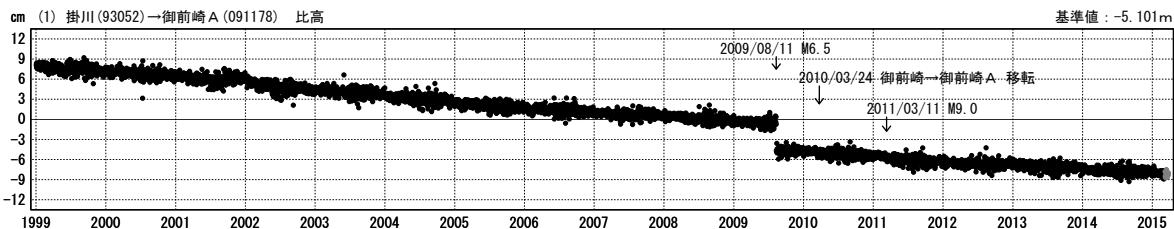
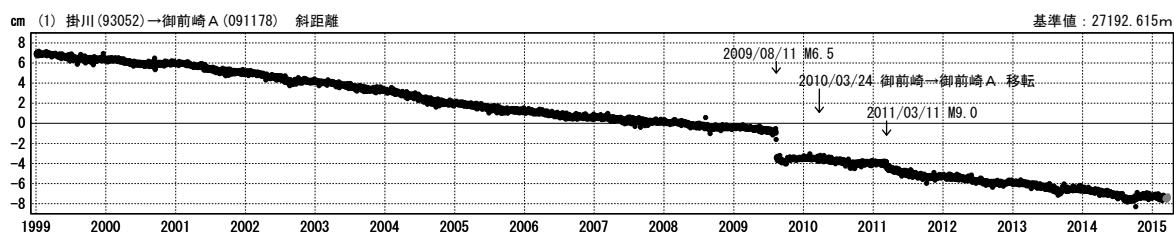
特段の変化は見られない。

## 基線図



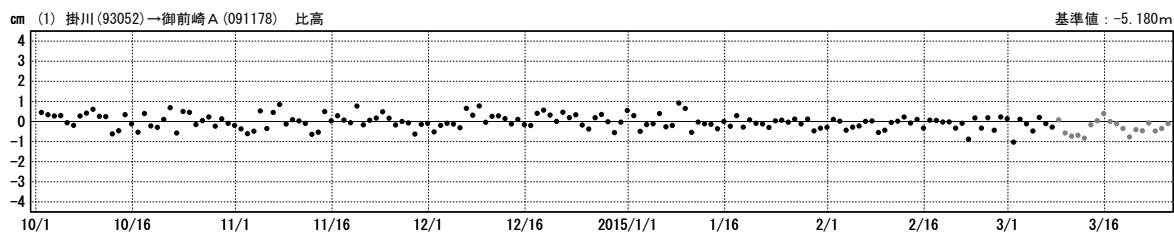
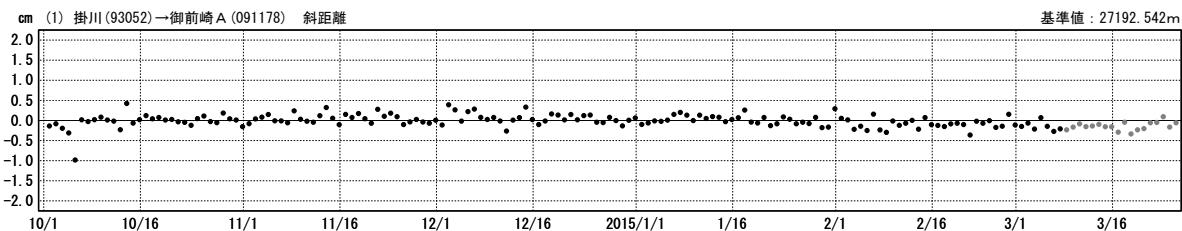
## 1999年1月からの基線変化グラフ(斜距離・比高)

期間：1999/01/01～2015/03/25 JST



## 最近6ヶ月間の基線変化グラフ(斜距離・比高)

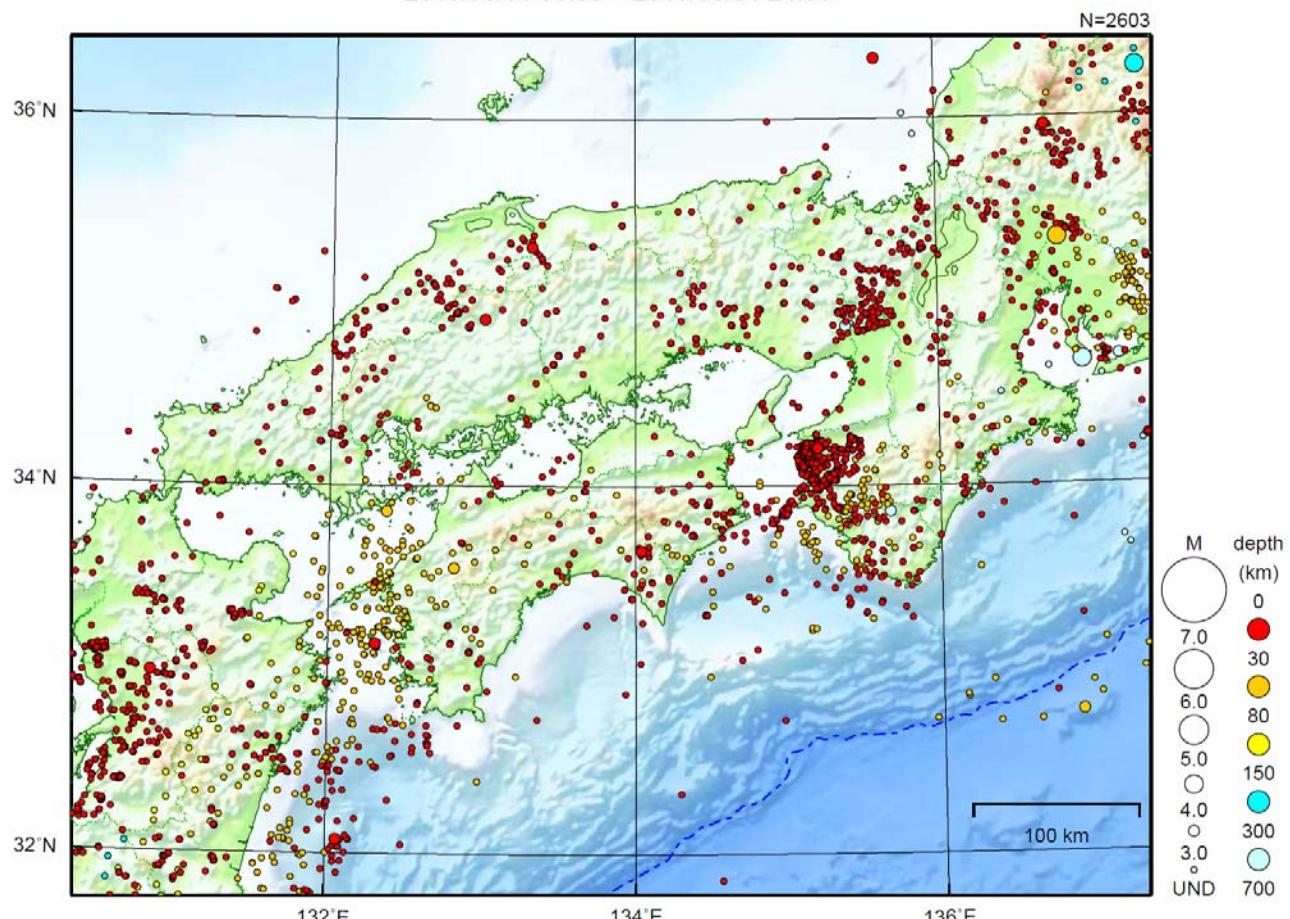
期間：2014/10/01～2015/03/25 JST



● ---[F3:最終解] ● ---[R3:速報解]

# 近畿・中国・四国地方

2015/03/01 00:00 ~ 2015/03/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

特に目立った地震活動はなかった。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

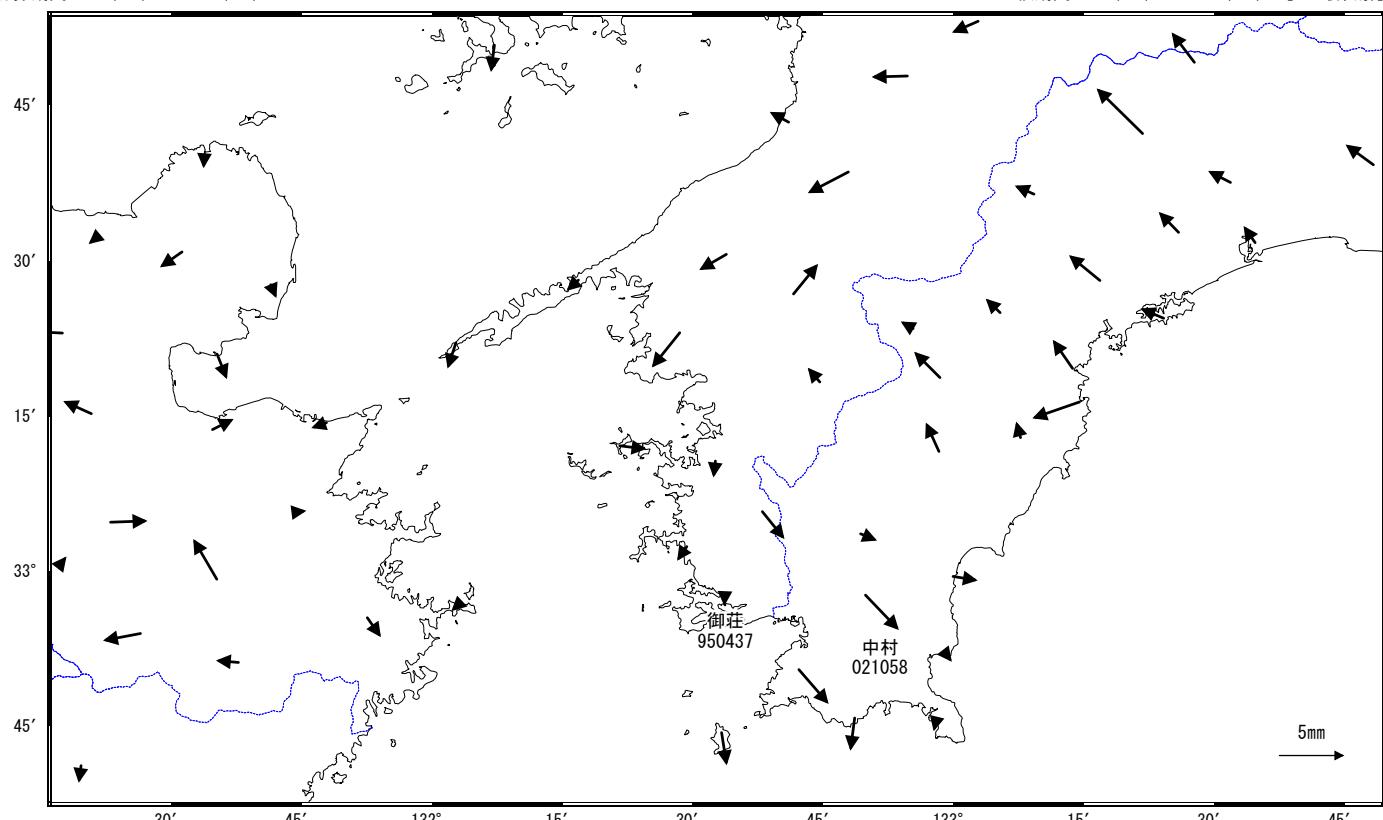
# 豊後水道周辺の非定常的な地殻変動

豊後水道周辺で非定常地殻変動が検出された。非定常地殻変動は、2014年夏頃から始まり、現在は停滞している。

計算期間: 2006/01/01~2008/01/01

## 水平変動ベクトル（非定常成分）

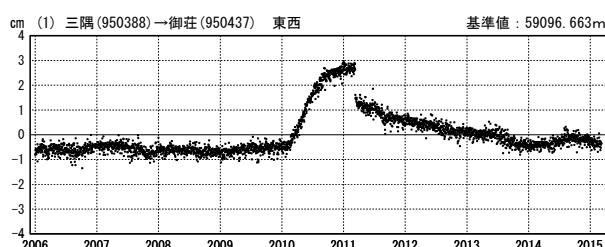
基準期間: 2014/06/01~2014/06/15 [F3: 最終解]  
比較期間: 2015/02/21~2015/03/07 [F3: 最終解]



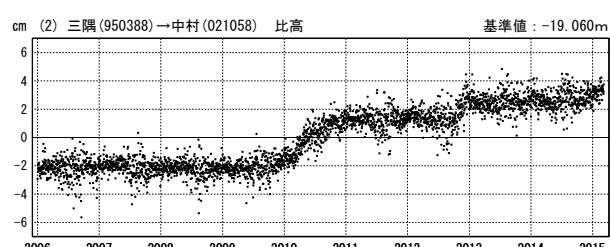
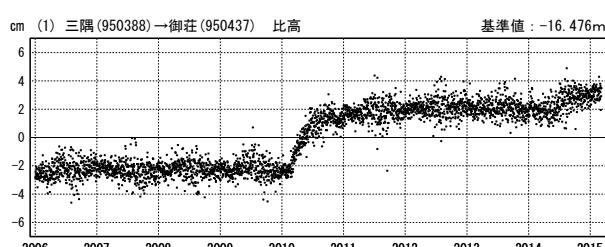
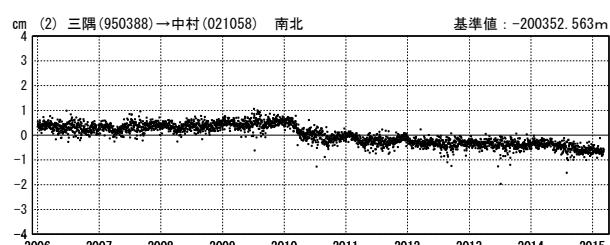
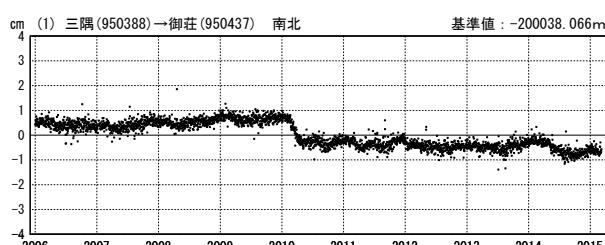
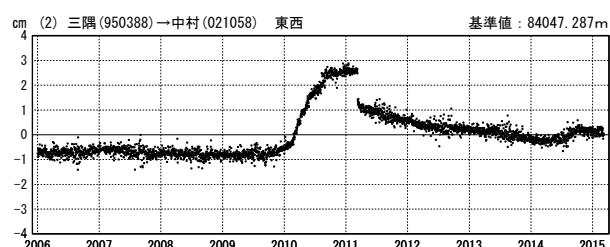
★ 固定局: 三隅 (950388)

## 時系列図（非定常成分）

期間: 2006/01/01~2015/03/07 JST



期間: 2006/01/01~2015/03/07 JST 計算期間: 2006/01/01~2008/01/01

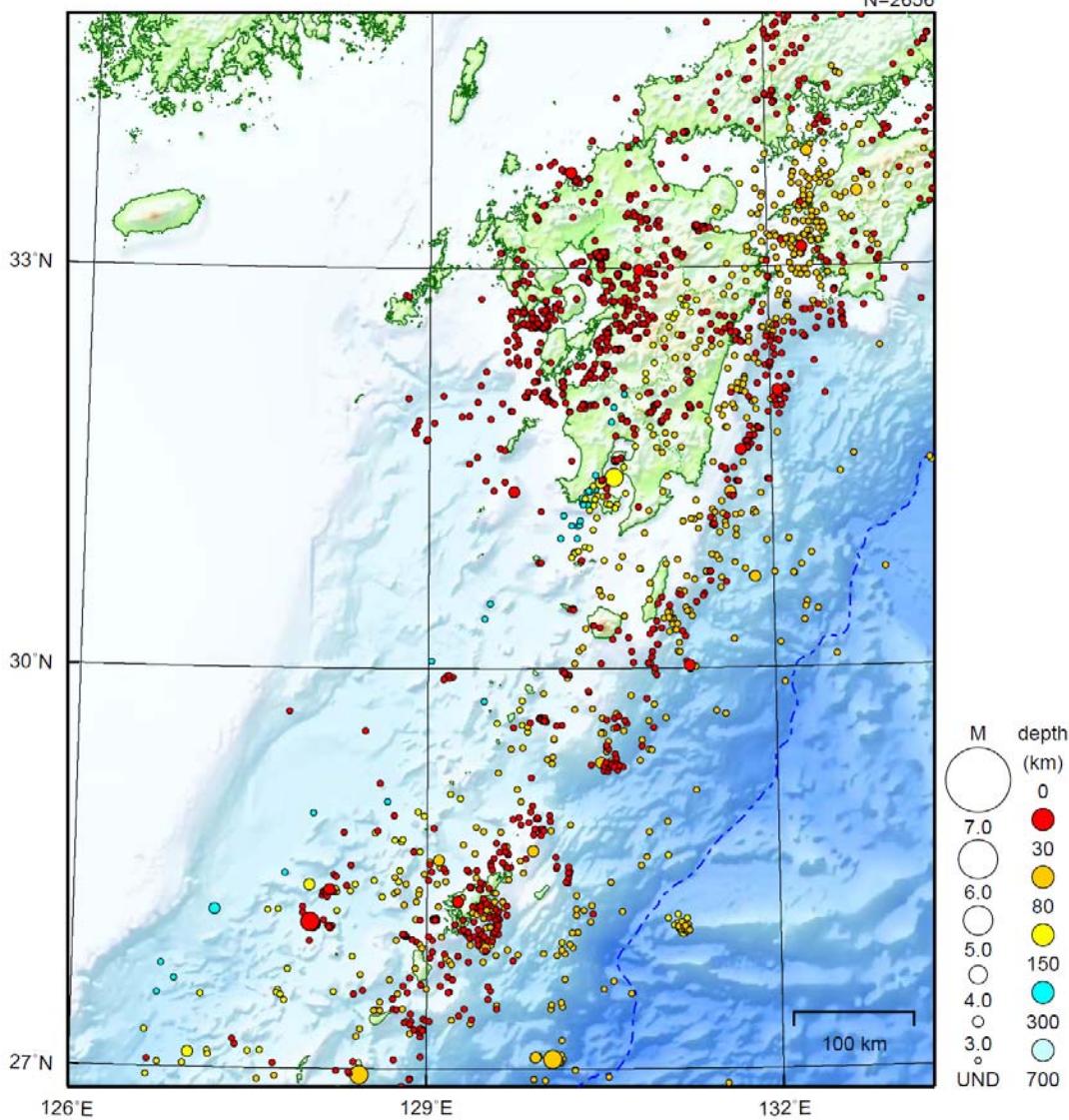


●---[F3: 最終解]

# 九州地方

2015/03/01 00:00 ~ 2015/03/31 24:00

N=2656



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

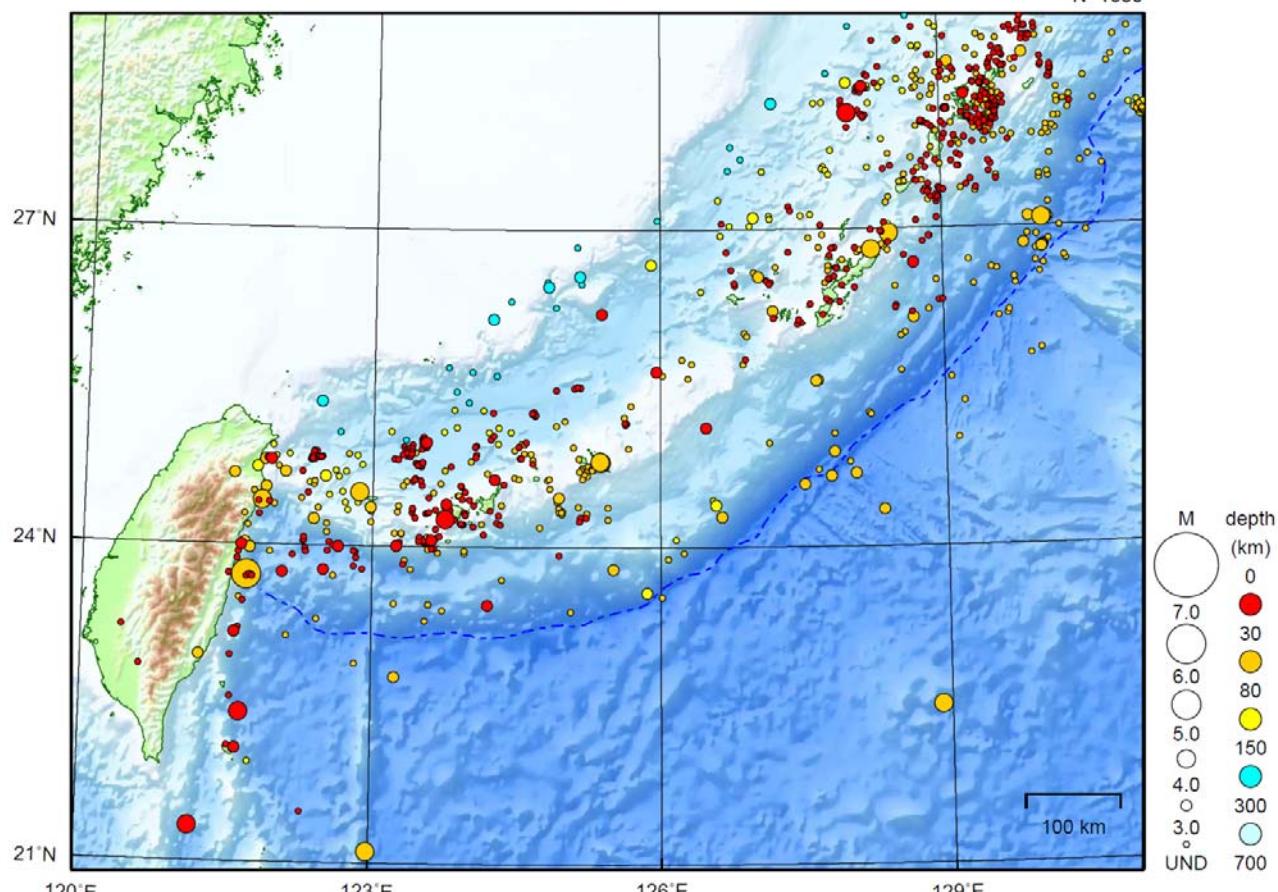
特に目立った地震活動はなかった。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

# 沖縄地方

2015/03/01 00:00 ~ 2015/03/31 24:00

N=1630



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

特に目立った地震活動はなかった。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]